

授 業 科目名	【 G 】	特殊講義(安全保障論)	区 分		開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	専門講義(安全保障論)	選 択			【 H 】 3		【 H 】 2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	多角的な観点から安全保障を考える					担当者	和田 大樹	
授業概要	【概要】	国際政治・安全保障の研究、企業向けに地政学・経済安全保障コンサルティングに従事する担当者の実務経験をもとに理解・考察を深める。近年、政治と経済・経営の距離は顕著に縮まっている。戦争やテロ、サイバー攻撃、サプライチェーンなどといったものは企業の経営活動に直結し、如何にそのようなリスクに対応するかは日系企業の間でも重要な問題となっている。本授業では、国際政治・安全保障についての理解を深めるとともに、その脅威が及ぼすリスク、日系企業・海外邦人への影響、具体的な危機管理対策についても取り上げ、実務経験的な立場から総合的に理解を深めていきたい。						
	【到達目標】	授業15回を通して、国際的な視野を養い、物事をより客観的に柔軟性を持って考えられる能力を身につける。						
履修条件	国際政治、外交・安全保障政策などに興味がある者。テロ対策も含むので、自衛官や防衛省だけでなく、警察官志望者も是非受講してほしい。							
アクティブ ラーニング の方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ (よく当てはまる)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ (当てはまらない)					
他科目との 関連性	国際関係論Ⅰ・Ⅱ、国際法Ⅰ・Ⅱなどの授業と関係性があるため、それらも受講して本授業に臨んでほしい。							
教科書	特になし							
参考書	適宜紹介する							
評価方法	期末レポート、授業への意欲などの総合評価							
フィードバック 方法(※)	毎回の出席を取る。また、前期講義中に複数回小テストを実施し、その都度フィードバックする予定。							
評価基準	評価基準については、授業への意欲、レポート内容などを総合的に判断し、真剣に取り組んだと判断できる者に「A」(特に優れた者に「S」)、相当程度取り組んだ者に「B」、十分とは言い難いが一定程度認められる者には「C」とし、不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とし、課題の提出状況が芳しくないなど、評価不能な場合は「F」とする。							

授 業	【 G 】	特殊講義（安全保障論）	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	専門講義（安全保障論）	選 択		【 H 】 3		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	今日の世界情勢						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
2	安全保障とは何か						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
3	日本の安全保障と日米同盟						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
4	中国、朝鮮半島情勢について						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
5	米国の外交・安全保障政策						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
6	中東・アフリカ地域の安全保障						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
7	新興国の台頭と大国間関係（米中関係、米ロ関係などを軸に）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
8	9.11 後の世界（対テロ戦争、イラク戦争）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
9	国際テロ情勢（イスラム過激派や極右勢力）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
10	新たな戦略空間（宇宙空間、サイバー空間、北極海など）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
11	技術が変える戦争と平和（AI や3D プリンター、ドローン、ロボットなど）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
12	人間の安全保障（難民や気候変動、人口爆発など）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
13	経済安全保障（経済的威圧、デカップリング、デリスキングなど）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
14	国際政治・安全保障と企業（地政学リスクや経済安全保障）						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
15	総合復習						
	予習：	参考書など関連書物を読んてくる	復習：	授業の内容を後で復習し、知識を習得する			
その他	授業初回にどのような問題に関心、興味を持っているかについてアンケートを実施します。その結果を講義内容に反映させるため、若干ながらの講義内容の変更があります。また、担当者は毎週数本の国際政治や安全保障に関する論考・記事をニュースサイトやオンラインに執筆しているので、授業の際には必要に応じてそれらを参考資料として提供します。						
	なお授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安としてください。						